

(様式2)

学校関係者評価報告書

愛媛県立新居浜特別支援学校
学校番号 (58)

評価実施日

令和2年 2月 19日 (水)

委員	氏名	所属等	備考
	大江 真輔	社会福祉法人 わかば会 障がい児者相談支援事業 相談支援専門員	
	大西 悦子	絵手紙サークル「ゆめの会」代表	
	佐々木 龍	新居浜医療福祉生活共同組合理事長	
	豊田 昭男	新居浜市社会福祉協議会	
	三並 保	新居浜市中萩校区連合自治会 (会長)	
	矢原 友美	P T A会長	
	天野 美鈴	P T A副会長	
	岡崎 康恵	P T A副会長	
	篠原 健二	P T A副会長	
	角 理恵	P T A副会長	
	中矢 友紀	P T A副会長	
	永易 美紀	P T A副会長	

評価・提言等

提言等に対する改善方策等

1 今年度の最終評価について

(1) 学習指導

ソーシャルスキルの向上を目指して、「相手の気持ちや心情を理解する」といった内容も積極的に授業の中で取り上げていくとよい。

・授業の「ねらい」や「育成したい力」を明確にし、教員間で支援の方法について共通理解を図っていく。また、個々の実態に応じて、「人と関わる力」に必要な事柄が身に付くような授業実践に努めていく。

(2) 児童生徒会活動

児童生徒、保護者ともに昨年度と比べて評価が向上しているが学校全体の中ではまだ低いので活動の様子が周知されるとよい。

・ホームページ上での発信や、生徒会新聞、校内掲示などを通して、児童生徒や保護者に活動内容を積極的に紹介していく。

(3) 進路指導

キャリア教育、進路指導についても「地域とのつながり」の中で一層深めていけるとよい。

・地域の企業や事業所から保護者が説明を聞ける機会を設けているので、早期から進路意識が高まるように、今後も小学部や中学部の保護者にも積極的な参加を呼びかける。

(4) P T A活動

P T A活動の活性化に関する評価が前年度より上がっているが、活動の様子が「わからない」という回答も多く見られる。

・P T A活動に 関心を持っていただけるよう、一人一役運動を来年度も実施し、多くの人の広い参加を呼び掛けていく。

2 学校運営への提言

- (1) ホームページなどで、児童生徒の作品や協力して製作したものなどの紹介があるとよい。
- (2) 広く地域の方々にも児童生徒の活躍や学校の活動を市政だよりなどで、知っていただく機会があるとよい。
- (3) 保護者間のつながりを、一層深められるように、新しい仲間づくりに向けて呼び掛けていくとよい。
- (4) 卒業生の進路について、いろいろな事例があるとよい。

- ・ ホームページで「給食」や「行事、学習活動」の紹介も行っているが、作品や展示物なども紹介できるように工夫していきたい。
- ・ 次年度は創立10周年を迎える。さらに「地域とのつながり」を大切に協働、協力、連携を深めていきたい。
- ・ P T A活動について知ってもらうことが大切。それぞれの保護者の思いや、期待されていることについても、しっかりと目を向け、活動の幅を広げていきたい。
- ・ 年々卒業生数も増えてきているので、校外学習や進路指導など機会をとらえて卒業生の活躍を紹介していきたい。